

ほうでえ～

ありゃ～のう

周防大島町の話題

協定を締結しました

8月1日、大島庁舎において「災害時における支援活動に関する協定」の調印式が行われました。

調印式では椎木町長と吉村基J A山口大島代表理事組合長が協定書を取り交わしました。今回の協定により地震、津波および風水害等の災害が発生した場合、町はJ A山口大島に対して生活物資の供給・避難場所の提供等について、支援を要請することができます。

また8月19日には、同会場において「災害時における災害救助物資確保に関する協定」の調印式も行われ、町はコープやまぐちと災害時の食料や生活物資の確保に関する協定を結びました。



▶ 8月1日 協定を締結した、椎木町長と吉村基J A山口大島代表理事組合長



▶ 8月19日 協定を締結した、椎木町長と岡崎悟コープやまぐち代表理事

ホノルル総領事と意見交換



▲大島商船高等専門学校の学生との意見交換会の様子

8月5日、重枝豊英ホノルル総領事が町を訪れ、椎木町長や学生らと意見交換を行いました。

これは、町長らが昨年10月のカウアイ島姉妹島提携50周年記念事業で、在ホノルル日本国総領事を訪問した返礼に開催されたもので、まず最初に、大島庁舎で町長やJ A山口大島、大島郡水産共励会、町商工会の代表者と町の産業などについて、意見交換を行いました。

その後、大島商船高等専門学校にて、カウアイ島でホームステイの経験を持つ学生から、当時の交流の様子などを聞き、重枝総領事は「ハワイの文化や歴史を知ることがとても重要なことで、これからも交流を続けてほしい。」と話されました。



▲重枝豊英ホノルル総領事